

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
320248	XZY1320248	1	前期	国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年
				国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択必修	1年
授業科目	担当教員			情報文化学部情報文化学科	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	×	×	×
韓国語 2c	桜沢 亜伊			情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	×	×	×
授業目的							
この授業では、韓国語 1 に引き続き日本で出版されたテキストを用いて、日本語話者の特性を生かした言語学習を通して、初級段階前半の語学力の完成を目指す。							
各回毎の授業内容							
第 1 回 【授】韓国語 1 の復習およびガイダンス 【前・後】韓国語 1 で学習した内容を復習する(1 時間)				第 9 回 【授】第 8 課(その 2)〜で、副詞形 【前・後】授業内容の復習(1 時間)			
第 2 回 【授】第 6 課(その 1)〜が、〜も、所有代名詞、指示詞 【前・後】授業内容の復習(1 時間)				第 1 0 回 【授】第 8 課(その 3)連用形語尾、流音の鼻音化 【前・後】第 8 課の復習と小テストの準備(1 時間)			
第 3 回 【授】第 6 課(その 2)〜ではない、〜と、敬語 【前・後】授業内容の復習(1 時間)				第 1 1 回 【授】第 9 課(その 1)補助用言、終結語尾 【前・後】授業内容の復習(1 時間)			
第 4 回 【授】第 6 課(その 3)〜や、存在詞 【前・後】第 6 課の復習と小テストの準備(1 時間)				第 1 2 回 【授】第 9 課(その 2)年月日の表現、過去形の補助語幹 【前・後】授業内容の復習(1 時間)			
第 5 回 【授】第 7 課(その 1)〜だが、〜に 【前・後】授業内容の復習(1 時間)				第 1 3 回 【授】第 9 課(その 3)敬語の終結語尾、分かち書き 【前・後】第 9 課の復習と小テストの準備(1 時間)			
第 6 回 【授】第 7 課(その 2)〜を、位置名詞 【前・後】授業内容の復習(1 時間)				第 1 4 回 【授】第 10 課(その 1)縮約形、現在連体形語尾 【前・後】授業内容の復習(1 時間)			
第 7 回 【授】第 7 課(その 3)〜で、〜へ、〜の 【前・後】第 7 課の復習と小テストの準備(1 時間)				第 1 5 回 【授】第 10 課(その 2)過去連体形語尾、引用文の連体形語尾 【前・後】第 10 課の復習と試験準備(1 時間)			
第 8 回 【授】第 8 課(その 1)〜から〜まで、〜なら、〜よりも 【前・後】授業内容の復習(1 時間)				第 1 6 回 【授】期末試験 【前・後】試験準備			
成績評価方法							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							50
小テスト・授業内レポート							30
宿題・授業外レポート							20
授業態度・授業への参加							
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							
出席が 2/3 以上の者に期末試験の受験資格を与え、成績は期末試験の結果で評価する。なお、宿題、小テストなどを成績評価に加える。返却された宿題や小テストを期末試験の準備に活用すること。							
教科書参考書							
熊谷明泰著『アリラン改訂版』朝日出版社、2015 年、定価 2400 円＋税							
受講に当たっての留意事項							
前学期に引き続き、学習項目を着実に習得して欲しい。宿題も随時出したい。							
学習到達目標							
基礎的な韓国語運用能力の習得を目標とする。習得した内容を、実際のコミュニケーションに活用することを想定しながら学んで欲しい。							
JABEE							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習